

令和6年度（2024年度） 事業計画

運営主体：社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

施設名：豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか

1. 運営方針

地域と共に“わたしらしく生きる”

今年度の永寿園とよなかは、法人全体の取り組みの一つでもある、「介護DX化」の実現と、厚生労働省が進める介護現場における「生産性向上」の推進に取り組みます。後者の手順である「①職場環境の整備②業務の明確化と役割分担③手順書の作成④記録・報告書の工夫⑤情報共有の工夫⑥OJTの仕組みづくり⑦理念・行動指針の徹底」の内、「職場環境の整備」として、施設全体にWi-Fi環境を整備し、職員にインカムを導入することにより、コミュニケーション効率を向上させていきます。

また、会議等でのタブレット端末等を用いた画面共有や、ワークフローシステム活用による書類保管の電子化を進め、保管不要部分のペーパーレス化に取り組みます。

併せてゴミの分別、節電・節水や計画的な照明のLED化を進め、エネルギー消費量の削減に取り組みます。

毎月実施しているアメーバ経営会議では、全職員が収入や支出に着目し経営視点をもてるよう会議に臨みます。これを通して経営基盤を安定させ、無駄を省いて必要なところに投資するという意識の浸透を図り、利益を地域に還元し地域福祉の拠点として認知されるよう努めていきます。

人と人との繋がりを大切にし、人と人とを結びつける役割として、地域公開講座を開催します。

地域住民の多様化するニーズに対応し、高齢者から子育て世代や子どもまで幅広く参加できる講座として定着させます。

包括的支援の入り口として、地域における社会資源として認知していただけるように取り組みます。

2. 重点項目

効率性の高い業務体制の構築とICT化の推進

①介護サービスが常時必要な、特定施設入居者生活介護契約の入所者と、常時は介護が不要な一般入所者が混在していた居住スペースをフロア毎に再配置し、介護が必要な入所者の居られる場所に必要な人材を集中させま

す。一般入所者の居住スペース共用部にWebカメラを設置し、モバイル端末による遠隔見守りを行い、インカム導入による効率的な職員間の情報共有を図るなど、介護現場における生産性向上の推進及び介護DX化に注力していきます。

また、診療所医師の協力のもと、プライバシーに配慮した見守りカメラの導入も検討し、看取り介護についても対応を行っていきます。

- ②各食堂に大型テレビを設置し、職員が操作するのではなく入所者自らがその意志によってリモコン等を操作しYouTube等を用いて運動等のWEBサイトを自身で選択し活用することで、主体性をもって毎日を過ごせるように支援していきます。

また、コロナ禍以前のクラブ活動を再開・提供していき、選択の幅を広げていきます。

- ③入所者の多くは精神疾患や内臓疾患、認知症など、複合的に疾患を抱えている場合が多く、また、重度化も進んでいます。出来る限り当施設での住み慣れた暮らしを継続するためにも、職員の介護技術の向上は必須となります。

介護ラダーシステムの導入等、介護技術の更なる向上にむけて中堅職員がリーダーシップをとりOJTやコーチングなどの計画的な指導体制を確立します。また、併設する特別養護老人ホームへの実地研修を計画的に行い、養護老人ホームとしての在り方を見直しながら、相互連携を深め、施設全体の介護力がボトムアップ出来る様努めます。

- ④契約締結している要援護高齢者短期入所事業について、行政や地域包括支援センターからの依頼に対し積極的かつ、スピーディーに対応していきます。また、高齢者の虐待問題や8050問題等、高齢者を取り巻く環境は複雑化しています。高齢者関係部署以外との連携も図り、対象の高齢者や関係者へ複合的な支援が出来る様取り組んでいきます。

3. 地域公益事業

地域ぐるみでの子育て、子育て支援

永寿園とよなかの理念「その人らしくここで・・・」をモットーに、施設が地域と共にあり、入所者が地域住民として“わたしらしく生きる”ことが出来、永寿園とよながが地域に根ざせるよう努めます。

永寿園とよながが、地域住民の障がいのあるなしに関係なく、子どもから

大人まで気軽に集える場所となる様、独自の貢献事業の提供と定着をさせます。

昨今、全国的な課題とされている不登校児問題について着目し、永寿園とよなかを学校以外の第2の居場所として活用します。学校には足が向かないが、「外に出てみようかな」と思い安心して家から出て日中過ごせる場として、また、学校の大型連休や長期休暇など保護者が就労により昼間独居となる児童が、安心して利用できる場所として施設の一部を活用します。

また、もえふぁーむでの農業体験や、もえカフェでの就労体験、保育園での保育体験や養護・特養での介護体験等、遊びを通しての学びや、体験イベント等を企画し、社会とつながる機会を提供します。

さらに、地域公開講座受講者からの「行きたいけど遠い」「行きたいけど、子どもを見てくれる人がいない」などの声を受け、令和6年度は職員派遣型出前講座を織り交ぜて実施します。施設内講座開催時に必要な方には送迎を行い、より便利に永寿園とよなかをご利用いただけるよう取り組みます。

4. 施設管理

開所11年目を迎え、経年劣化に伴う建物設備等の不具合が断続的に生じ、日常のメンテナンスを継続して実施しております。

日頃より、定期的な点検を実施し、早期発見、こまめな修繕を行うことで、大規模で突発的な修繕に至らないよう努め、建物設備等の適正な施設管理を行います。

5. 労務管理

職場環境の整備として、5Sの視点で安全な介護環境と働きやすい職場環境を整備します。

介護の重度化に対応する為、介護技術向上が喫緊の課題であり、併設する特養での実践研修を計画的に行い職員の介護技術の向上を図る事で、安心して働ける職場づくりを行います。新たに採用した無資格の職員には介護福祉士の取得に向けて初任者研修、実務者研修などの案内を行いスキルアップの支援を行います。

充実したサービスを提供するための体制として、職員配置基準を上回る配置体制を整えます。介護現場における生産性向上に取り組むべく、ICTの導入による業務効率化を図ることで業務上の「ムリ」「ムダ」「ムラ」をなくします。業務をより安全に、正確に、効率的に行うことで、職員の業務負担を軽減します。また職員の不必要な残業を減らし、適切な有給休暇の取得を推進することにもつながり、離職率の低下を図ります。

その他、人材確保の観点では、特定技能外国人の受け入れや、日本語学生の受け入れを先駆的に行い、福祉分野の深刻化する人手不足に対応します。

管理者からの職員面談に加え、正規職員のアドバイザー選任・担当制により、日々の業務における不安・要望などを気軽に相談しながらタイムリーに改善を図り得る風通しのよい職場環境を整えます。

永寿園養護拠点区分 資金収支予算内訳書

(自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月 31日)

(単位：円)

勘定科目	永寿園養護拠点区分						合計	内部取引消去	拠点区分合計	
	拠点合計	養護老人ホーム	養護老人ホーム(特定)	養護老人ホーム(短期入所)	社会福祉貢献	地域公益事業				
事業活動による収支	介護保険事業収入	76,014,000	0	76,014,000	0	0	0	76,014,000	0	76,014,000
	居宅介護料収入	76,014,000	0	76,014,000	0	0	0	76,014,000	0	76,014,000
	(介護報酬収入)	70,933,000	0	70,933,000	0	0	0	70,933,000	0	70,933,000
	介護報酬収入	68,669,000	0	68,669,000	0	0	0	68,669,000	0	68,669,000
	介護予防報酬収入	2,264,000	0	2,264,000	0	0	0	2,264,000	0	2,264,000
	(利用者負担金収入)	5,081,000	0	5,081,000	0	0	0	5,081,000	0	5,081,000
	介護負担金収入(一般)	4,974,000	0	4,974,000	0	0	0	4,974,000	0	4,974,000
	介護予防負担金収入(一般)	107,000	0	107,000	0	0	0	107,000	0	107,000
	老人福祉事業収入	158,208,000	152,776,000	0	5,432,000	0	0	158,208,000	0	158,208,000
	措置事業収入	158,208,000	152,776,000	0	5,432,000	0	0	158,208,000	0	158,208,000
	事務費収入	104,768,000	104,768,000	0	0	0	0	104,768,000	0	104,768,000
	事業費収入	46,513,000	46,513,000	0	0	0	0	46,513,000	0	46,513,000
	その他の利用料収入	1,495,000	1,495,000	0	0	0	0	1,495,000	0	1,495,000
	その他の事業収入	5,432,000	0	0	5,432,000	0	0	5,432,000	0	5,432,000
	受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000
	その他の収入	839,000	839,000	0	0	0	0	839,000	0	839,000
	利用者等外給食費収入	215,000	215,000	0	0	0	0	215,000	0	215,000
	雑収入	624,000	624,000	0	0	0	0	624,000	0	624,000
	事業活動収入計(1)	235,062,000	153,616,000	76,014,000	5,432,000	0	0	235,062,000	0	235,062,000
	支出	人件費支出	133,551,000	85,682,000	46,459,000	1,410,000	0	0	133,551,000	0
職員給料支出		45,792,000	29,003,000	16,789,000	0	0	0	45,792,000	0	45,792,000
職員賞与支出		11,466,000	7,835,000	3,631,000	0	0	0	11,466,000	0	11,466,000
非常勤職員給与支出		57,880,000	37,210,000	19,266,000	1,404,000	0	0	57,880,000	0	57,880,000
退職給付支出		935,000	579,000	356,000	0	0	0	935,000	0	935,000
法定福利費支出		17,478,000	11,055,000	6,417,000	6,000	0	0	17,478,000	0	17,478,000
事業費支出		45,189,000	26,141,000	17,783,000	1,265,000	0	0	45,189,000	0	45,189,000
給食費支出		21,081,000	10,670,000	9,225,000	1,186,000	0	0	21,081,000	0	21,081,000
保健衛生費支出		568,000	400,000	168,000	0	0	0	568,000	0	568,000
被服費支出		80,000	80,000	0	0	0	0	80,000	0	80,000
教養娯楽費支出		1,063,000	641,000	422,000	0	0	0	1,063,000	0	1,063,000
日用品費支出		181,000	181,000	0	0	0	0	181,000	0	181,000
本人支給金支出		2,729,000	2,729,000	0	0	0	0	2,729,000	0	2,729,000
水道光熱費支出		12,724,000	7,259,000	5,444,000	21,000	0	0	12,724,000	0	12,724,000
消耗器具備品費支出		2,947,000	1,623,000	1,324,000	0	0	0	2,947,000	0	2,947,000
保険料支出		311,000	220,000	91,000	0	0	0	311,000	0	311,000
賃借料支出		3,098,000	2,039,000	1,001,000	58,000	0	0	3,098,000	0	3,098,000
車輛費支出		407,000	299,000	108,000	0	0	0	407,000	0	407,000
事務費支出		28,753,000	18,632,000	10,064,000	57,000	0	0	28,753,000	0	28,753,000
福利厚生費支出		627,000	453,000	159,000	15,000	0	0	627,000	0	627,000
職員被服費支出		9,000	9,000	0	0	0	0	9,000	0	9,000
旅費交通費支出		56,000	49,000	7,000	0	0	0	56,000	0	56,000
研修研究費支出		117,000	85,000	32,000	0	0	0	117,000	0	117,000
事務消耗品費支出		1,504,000	1,196,000	266,000	42,000	0	0	1,504,000	0	1,504,000
印刷製本費支出		19,000	19,000	0	0	0	0	19,000	0	19,000
水道光熱費支出		903,000	516,000	387,000	0	0	0	903,000	0	903,000
修繕費支出		1,320,000	1,170,000	150,000	0	0	0	1,320,000	0	1,320,000
通信運搬費支出	518,000	420,000	98,000	0	0	0	518,000	0	518,000	
広報費支出	124,000	96,000	28,000	0	0	0	124,000	0	124,000	
業務委託費支出	18,357,000	10,809,000	7,548,000	0	0	0	18,357,000	0	18,357,000	

永寿園養護拠点区分 資金収支予算内訳書

(自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月 31日)

(単位：円)

勘定科目	永寿園養護拠点区分						合計	内部取引消去	拠点区分合計	
	拠点合計	養護老人ホーム	養護老人ホーム(特定)	養護老人ホーム短期入所	社会福祉貢献	地域公益事業				
手数料支出	1,046,000	708,000	338,000	0	0	0	0	1,046,000	0	1,046,000
保険料支出	197,000	132,000	65,000	0	0	0	0	197,000	0	197,000
賃借料支出	598,000	420,000	178,000	0	0	0	0	598,000	0	598,000
租税公課支出	21,000	21,000	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000
保守料支出	3,059,000	2,251,000	808,000	0	0	0	0	3,059,000	0	3,059,000
渉外費支出	13,000	13,000	0	0	0	0	0	13,000	0	13,000
諸会費支出	265,000	265,000	0	0	0	0	0	265,000	0	265,000
その他の支出	153,000	153,000	0	0	0	0	0	153,000	0	153,000
利用者等外給食費支出	153,000	153,000	0	0	0	0	0	153,000	0	153,000
事業活動支出計(2)	207,646,000	130,608,000	74,306,000	2,732,000	0	0	0	207,646,000	0	207,646,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	27,416,000	23,008,000	1,708,000	2,700,000	0	0	0	27,416,000	0	27,416,000
施設収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	5,896,000	5,896,000	0	0	0	0	0	5,896,000	0	5,896,000
器具及び備品取得支出	5,734,000	5,734,000	0	0	0	0	0	5,734,000	0	5,734,000
ソフトウェア取得支出	162,000	162,000	0	0	0	0	0	162,000	0	162,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	162,000	132,000	24,000	6,000	0	0	0	162,000	0	162,000
施設整備等支出計(5)	6,058,000	6,028,000	24,000	6,000	0	0	0	6,058,000	0	6,058,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△6,058,000	△6,028,000	△24,000	△6,000	0	0	0	△6,058,000	0	△6,058,000
その他の収入	3,740,000	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000	0	3,740,000
拠点区分間繰入金収入	3,740,000	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000	0	3,740,000
本部拠点区分間繰入金収入	3,740,000	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000	0	3,740,000
その他の活動収入計(7)	3,740,000	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000	0	3,740,000
積立資産支出	516,000	349,000	167,000	0	0	0	0	516,000	0	516,000
退職給付引当資産支出	516,000	349,000	167,000	0	0	0	0	516,000	0	516,000
拠点区分間繰入金支出	21,600,000	14,400,000	1,500,000	5,700,000	0	0	0	21,600,000	0	21,600,000
本部拠点区分間繰入金支出	1,500,000	0	1,500,000	0	0	0	0	1,500,000	0	1,500,000
本部拠点区分間繰入金支出(前期)	20,100,000	14,400,000	0	5,700,000	0	0	0	20,100,000	0	20,100,000
その他の活動支出計(8)	22,116,000	14,749,000	1,667,000	5,700,000	0	0	0	22,116,000	0	22,116,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△18,376,000	△11,009,000	△1,667,000	△5,700,000	0	0	0	△18,376,000	0	△18,376,000
予備費支出(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,982,000	5,971,000	17,000	△3,006,000	0	0	0	2,982,000	0	2,982,000
前期末支払資金残高(12)	33,636,000	13,926,000	13,987,000	5,723,000	0	0	0	33,636,000	0	33,636,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	36,618,000	19,897,000	14,004,000	2,717,000	0	0	0	36,618,000	0	36,618,000